

2019.12.14 三の丸ホテル

国際奉仕合同セミナーに参加して

松山美法

午前中は来年の園児グアム留学の説明会に臨んでいたため、午後からの出席となつてしまい申し訳ありませんでした。

まず、「この指とまれ」プロジェクトの支援金目録贈呈式、続いて5提唱クラブ（しもだて紫水 RC・大子 RC・結城 RC・日立 RC&下館 RC・玉造 RC）より、取り組みについての報告とその賛助クラブ代表からの応援メッセージが贈られました。

この質疑応答の時間に、弊クラブのクリスマスドロップについて簡単なお報告をさせていただくと共に、取り組み報告の中で気になった「国際便」の料金等について知りたく、質問をさせていただきました。参加者はベテラン揃いですから、複数の方々から詳細事例やアドバイスいただくことができたので、司会者も知識が増えたと共に喜んで下さいました。

各提唱クラブへの支援金としては 15 万円～40 万円が賛助されていたので、次回は当クラブも提唱クラブを目指すとよいのではないかと、個人的感想を持ちました。

次に、国際交流奨学生制度の 6 つの種類の内容や担当部署についての説明がなされました。自身は制度の違いが何度聞いても分かり難く、理解にはまだまだ時間がかかりそうです。その中で、聞き違いでなければ「ロータリアンの 3 親等以内は対象外」と言われたことで、孫たちが将来的に RC の奨学生を目指せたらと思い描いていたので、少し失意しました。しかし、「ロータリー財団の奨学生」はロータリー自身がなってもよいとのことだったので、そちらを目指すのもありかと切り替えました（笑）。

残念ながらこの事業は 2820 地区において活かし切れていないようなお話だったので、制度の内容を変更して利用し易くしたり、広報活動の質を見直して事業の存在をアピールしたりし、当事業を目指す青少年が増えてくると、ロータリークラブの存在意義も高まるように思いました。

以上ご報告です。

